

三重で辺野古新基地の土台となる

ケーソンを作らせない！

辺野古のケーソンをつくらせない三重県民の会

柴田 天津雄

昨年2月、沖縄の仲間から大変なニュースが飛び込んできました。三重県で辺野古新基地の土台となるハイブリッドケーソン6基が作られそうだ。どこの工場で作られるのか調べたうえで、できれば反対運動をはじめてほしい、ということでした。

ハイブリッドケーソンとは一体なにか。長さ52m、奥行き22m、高さ24m、総重量7400tの鉄骨と鉄筋コンクリートの巨大な箱で、海上空港をつくるたびに箱ごと海に沈めて、その中に土砂を投入し埋め立て、そのまま空港の護岸にするものらしい。そんなものを作れるのは造船所以外にはない。いろいろ調べた結果、津市にある旧日本鋼管造船所で、今はJFEエンジニアリング津製作所に違いないことが分かった。私たちの住むところのすぐ目の前の工場だ。

3月、県内の市民グループ、労働組合、政党に呼びかけて対策会議を持ちました。その場で、「県民の会」の立ち上げ、さっそく、この事実を多くの県民に知らせること、JFEエンジニアリングに対してケーソンを作らないように要請・抗議行動をすることを確認しました。少なくとも毎月1回以上のチラシまき行動をしていくことを決定しました。4月には立ち上げの決起集会をすることも決めました。

4月の決起集会には40数人が集まり、会の方針を説明するとともに、辺野古に常駐している仲間の富田さんから、辺野古の現状報告を聞きました。5月には、JFEエンジニアリングの正門前で、出勤する社員を対象に、早朝チラシまき行動を行いました。2000人ももの従業員がいることも知らず、500枚のチラシを持っていったらほんの20分ほどで全部なくなってしまいました。多くの人がチラシを受け取ってくれました。

以後、私たちは津駅前、四日市駅前、伊勢市駅前、白子駅前などで毎月10数人でチラシまきを続けています。すでに1万枚以上のチラシを市民に配布してきました。署名集めもしており、県内2000筆、県外からは1000筆以上の署名が集まっています。(7月10現在)

4月30日には、沖縄から山城博治さんを招いて2

00名を超える市民が集まる集会を持ちました。

これからは集まった署名を受けて、JFE エンジニアリング本社(横浜市)に対して、ケーソンを作らないよう直接の要請・抗議行動を行っていく予定にしています。そしてますます多くの市民にこの事実を知らせて、三重県の地域から沖縄・辺野古の新基地の土台となるハイブリッドケーソンを作らせない大きな運動を作っていきたいと思っています。

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 パンフレット

「どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない」と辺野古の海を埋め立てるために全国の土砂搬出が計画されている12県18団体が繋がりました。三重の県民の会もこの一翼を担っています。全国連絡会が以下のパンフレットを発行しました。「沖縄にも全国の搬出地にも、美しくて人々が大切に思う故郷があります。かけがえのない人々が生きる場です。その人々の営みや運動について、一人でも多くの方に知っていただきたいと思い冊子を作りました」(パンフより)「土砂搬出をさせない」や「ケーソンを作らせない」闘いは、辺野古の闘いに具体的につながる運動です。

不戦ネットでもパンフを扱っています。
ご希望の方は連絡をください。

★A4版 32ページ ★1冊 500円

